



気迫ある投球で全国の強打者を次々と抑えた健大の下

健大高崎

健大高崎は昨秋の関東大会と明治神宮大会で数々の激闘を制し、勝負強さを発揮した。個々の能力が高い投手陣と、関東大会県予選

勝ち上がった。中心はエース左腕下慎之介と右腕橋本拳汰。下は気迫ある投球で神宮大会20回防御率0.45と圧倒した。身長191センチの橋本拳は高所から投げ下ろす最速142キロの直球を武器に、関東大会決勝で山

打力と勝負強さ

から13試合で120安打73得点の打撃力は、春の選抜で他校の脅威になるだろう。

梨学院を完封した。マウンド度胸が光る右腕長谷川秀、U15(15歳以下)代表経験のある右腕朝井優だったが、新チームは長いイニングを投げられる選手がそろい、新たな戦い方で的確な配球で長所を引き出

野手は神宮大会で満塁本塁打を含む7打点を挙げた山本遼哉や、関東大会の常総学院(茨城)戦で同点本塁打を放った1年小沢周平が中軸を担う。中堅戸沢昂平と遊撃橋本脩生は俊足と

打撃力で代名詞の「機動破壊」を体現する。県予選3位から全国準優勝まで上り詰めた実力は本物だ。次は聖地で健大旋風を巻き起こせるか。

チーム紹介

桐生第一

昨秋の関東大会県予選を13年ぶりに制した桐生第一は、多彩な攻撃が光る。関東大会で、準々決勝の桐光学園(神奈川)戦は満塁弾を含む5長打で圧勝し、準

多彩な攻撃 光る

は、全国でも武器になる。真樹朗は広角への打ち分けで、大崩れしない。中軸に座る中島優月と広瀬智也主将は爆発力がある。中島は桐光戦で満塁本塁打を放ち、計5打点の活躍で選抜出場の立役者となった。体格を生かした力強い打撃の広瀬主将は、2年

夏から主砲。昨秋の全8試合で毎試合安打の2番曾我一瑛は、長打あり、スクイズありの好打者。3番加藤内外角を丁寧に突く投球の最速は131キロながら東大会全2試合を完投。直球の最速は131キロながら東大会全2試合を完投。直球の最速は131キロながら東大会全2試合を完投。

守備は派手さはないが、投手を中心に粘り強く、昨秋は1イニング2失点以上していない。主戦左腕宮下宝は、制球力が武器。県予選は準々決勝からの3試合

秋季県予選	
▷2回戦	10-1 太田(7回コールド)
▷3回戦	8-0 農大二(7回コールド)
▷準々決勝	10-3 前橋商(7回コールド)
▷準決勝	0-5 前橋育英
▷3位決定戦	8-1 樹徳(7回コールド)
秋季関東大会	
▷1回戦	5-4 常総学院(茨城)
▷準々決勝	3-2 西武台(埼玉)
▷準決勝	8-2 東海大相模(神奈川)
▷決勝	3-0 山梨学院
明治神宮大会	
▷1回戦	7-1 倉敷商(岡山) (延長10回タイブレーク)
▷準々決勝	5-4 明豊(大分) (延長10回タイブレーク)
▷準決勝	3-2 白樺学園(北海道)
▷決勝	3-4 中京大中京(愛知)



昨秋の関東大会準々決勝で、満塁本塁打を放った桐生第一の中島

秋季県予選	
▷1回戦	10-6 前橋
▷2回戦	12-2 高崎北(6回コールド)
▷3回戦	8-1 安中総合(8回コールド)
▷準々決勝	9-0 常磐(7回コールド)
▷準決勝	14-0 樹徳(5回コールド)
▷決勝	4-1 前橋育英
秋季関東大会	
▷準々決勝	10-4 桐光学園(神奈川)
▷準決勝	5-6 山梨学院